

平成24年度 同好会事業報告

算数・数学同好会

世話係名 松木 智子

会長名 岡部温樹

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5月1日	第1回 算数数学同好会	10
8月2日	第2回 算数数学同好会 (夏期研修会) ・ 関東ブロック松本大会レポート検討 ・ 講演会 演題 『新課程教科書のご使用にあたって』 講師 啓林館第一編集部顧問 森田浩一様	15
11月2日	北信ブロック算数数学研究大会参加	2
11月12日	第3回 算数数学同好会 関東ブロック松本大会レポート最終検討	10
11月16日 17日	関東ブロック松本大会参加 ・ レポート発表 相森中学校 清水和先生 「日常の事象の問題場면을数学化(教材化)していく研究 —運動会表現種目『行進』の教材化を通して—」	7

算数数学同好会の夏の研修会は、啓林館 第一編集部 顧問 森田 浩一様をお迎えし、『新課程教科書のご使用にあたって』と題して、講演をしていただきました。当日は、夏の暑い中でしたが、十五名の先生方の参加により、明日の実践につながる研修の場となりました。昨年度の小学校の教科書に続き、今年度より中学校の教科書も新しくなり、教育課程改訂の趣旨をふまえ、これまでの教科書とずいぶん趣が変わりました。昨年から、「夏期研修会で新しい教科書について教科書会社の方から直接話をお聞きしたい」という声があり、今年度、実現することができました。教科書に使われている題材に込められた願いや、授業での活かし方、小学校の教科書と中学校の教科書とのつながりなど、直接つくられた方でないわからない部分について、お話をお聞きしたり、直接質問させていただいたりすることができ、大変有意義な会となりました。森田先生には懇親会

にもご出席いただき、ざっくばらんに算数数学教育について、また、教科書で扱われている問題等についてお話させていただくこともでき、実りの多い一日となりました。参加された先生方にも深く感謝申し上げます。

また、今年度は、第六十七回関東都県算数・数学教育研究松本大会が開催され、上高井からは、相森中学校の清水和先生に、平成二十二年度の算数数学研究委員会で授業公開していただいた、関数 $y = ax^2$ の単元での実践を、「日常の事象の問題場面を数学化(教材化)していく研究—運動会表現種目『行進』の教材化を通して—」と題してレポート発表していただきました。

また、実行委員として田所慎也先生、分科会世話人として水上淳一先生、分科会司会者として高橋廣貴先生にもご尽力いただきました。今後も、さらに算数・数学のおもしろさを実感できる研修の場となりますよう、ご協力をお願いいたします。

(会長 岡部 温樹)